

審議経過(要点記録)

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 協議事項

(1) 令和4年度地域包括支援センター事業の主な取り組み状況

ア. いきいき百歳体操サポーター育成教室について説明

(※資料3～4ページ)

<質疑応答>

【委員】

・「かみかみ百歳体操」と「しゃきしゃき百歳体操」の内容はどんなものか。

【事務局】

→「かみかみ百歳体操」は口腔機能向上のための20分程度の体操、「しゃきしゃき百歳体操」は認知症予防も組合せており、10分程度の体操となる。

【委員】

・この百歳体操参加者の平均年齢はどれくらいか。

【事務局】

→全体的には78～79歳。会場によっては84～85歳が平均になるところもある。

イ. 高齢者の保健指導と介護予防の一体的実施事業について説明

(※資料5～7ページ)

<質疑応答>

【委員】

・資料7ページのフレイルとサルコペニアの記載について、逆ではないか。訂正しておいてほしい。

【事務局】

→はい。

【委員からの意見】

・山代ふれあいサロン向山和の会では百歳体操をサロンや自宅で一年間続けて体重が11kg減少し、肥満から改善されている方がいる。

【他の委員より】

→いいこと。続けてほしい。

審 議 経 過 (要点記録)

ウ. 介護予防・日常生活支援総合事業（べんりカーやましる号）について説明

（※資料8～11ページ）

< 質疑応答 >

【委員】

・大変便利だと思う。運転手が事故を起こした場合の責任の所在はどこにあるのか。市は（責任の所在に）関わるのか。

【事務局】

→市は関わらない。実施主催団体に車両保険に必ず加入してもらうことにしており、保険の範囲の保障となる。

【委員】

・ボランティア運転手の確保は大変。もし運転手を志願する方がいた場合に運転テストや年齢制限はあるのか。

【事務局】

→テストはなく、年齢制限は設けていない。安全運転講習を必ず受講してもらうことにしている。

エ. 高齢者見守りネットワーク事業について説明

（※資料12～13ページ）

< 質疑応答 >

【委員】

・包括とケアマネ等への繋ぎ役ということでもいいか。

【事務局】

→情報収集し、要支援等の認定を受けている人であれば、ケアマネ等に繋ぐこともある。

(2) 令和5年度地域支援事業及び予算

成年後見制度利用促進事業の委託について説明

（資料15～16ページ）

< 質疑応答 >

【委員】

・成年後見制度が利用されていない一番の理由は何か。

【事務局】

→制度を知らないことや、申し立ての費用の面で利用したくてもできない方もいる。

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審議経過（要点記録）

【委員】

- ・広報活動が大切ということか。本人からの申し出はあるか。

【事務局】

→本人から相談を受ける場合は「今は必要ないが、先々こういう制度を活用できたら」といった内容が多い。他にも、家族が本人に代わって本人名義の口座から引き落とそうとした時に、金融機関の方から「家族であっても後見制度を利用してください」と勧められ、話を聞きに来たというケースもこの数年で多くなってきている。

【委員】

- ・ACPでは自分が病気になって自分の意志を話せなくなった時に「この人に話を聞いてください」ということを書くことになっている。成年後見制度も同じで今後大事になってくる。広報活動を頑張ってもらいたい。

- (3) 令和5年度介護予防ケアマネジメント業務委託事業所の選定について説明

（資料17～18ページ）

【会長】

- ・承認していいか。→承認

- (4) 地域包括支援センターの運営について説明

（資料19ページ）

<質疑応答>

【委員】

- ・資料19ページの「地域包括支援センターとは」の説明について、「高齢者」という言葉は必要ではないか。小さい子どもでも対象としてあるように受け取れる。

【事務局】

→この文章は「介護保険法」から抜粋しており、介護保険法の対象は原則65歳以上になる。

【委員】

- ・地域包括支援センターは中学校区で1つという設置基準があったと思うが。

審 議 経 過（要点記録）

【事務局】

→生活圏域は中学校区に1つ設けるとというのが目安としてあり、伊万里市では生活圏域をどうするかと議論があった。その結果、伊万里市の場合は1圏域とし、地域包括支援センターが1か所になった。

○全体を通しての質問・意見

【委員】

・べんりカーやましろ号について、他の地域（市外含めて）でもやっているのか。

【事務局】

→県内では佐賀市と嬉野市等が実施している。伊万里市では山代町のみ。

【委員】

・高齢者の運転を見ると心配になる。通院などに利用できるのはいいことだと思う。

【委員】

・以前、病院の敷地内で高齢者が事故を起こした際、警察は居眠り運転と判断したが、実は服薬が影響していたことがあった。バス会社でも運転手の服薬の把握をしていないようだが、服薬が大きく影響するということを知ってほしい。

【委員】

・この車に安全機能は付いているか。

【事務局】

→ついていない。

【委員】

・免許証を返納した後、市街地、田舎、山の中では全然違う。べんりカーやましろ号のようなものが増えると非常に便利だと思う。

4. 閉会

【事務局から連絡】

・地域包括支援センター運営推進会議は年2回の開催をしている。次回は令和5年8月頃に開催予定。委員の任期は令和5年度までとなっている。引き続きよろしく願います。